

誓約書兼同意書

私（当社）は、次の公売財産の入札に参加するにあたり、下記に該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。

公売財産の名称		数量
売却区分番号	種類	200.00㎡
〇〇〇-〇	不動産・動産・その他 ()	

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

また、当方が下記に該当しないことを確認するため、静岡市から履歴事項全部証明書、役員等氏名一覧その他必要な資料の提出を求められたときは、ただちに提出します。また、当方の個人情報について、静岡市が警察当局へ情報提供することに同意します。

記

1 入札参加者として不適当な者

- (1) 役員等（静岡市の事務事業の契約相手方が個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員等（静岡市暴力団排除条例（平成25年静岡市条例第11号）第2条第3号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）の配偶者（暴力団員と生計を一にする配偶者で、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）であると認められるもの
- (2) 暴力団（静岡市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ）、暴力団員等又は暴力団員の配偶者が経営に実質的に関与していると認められるもの
- (3) 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者を利用するなどしたと認められるもの
- (4) 役員等が、暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるもの
- (5) 役員等が暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるもの

2 公序良俗に反する使用等

暴力団又は静岡市暴力団排除条例若しくは法律の規定に基づき公の秩序を害するおそれのある団体等であることが指定されている者の事務所又はその他これに類するものの用に供し、また、これらの用に供されることを知りながら、所有権を第三者に移転し、又は物件を第三者に賃借すること。

(あて先) 静岡市長

令和 年 月 日

住所又は所在地

静岡市葵区追手町5番1号

氏名又は名称

葵 太郎

電話番号

(〇〇〇) - 〇〇〇 - 〇〇〇

生年月日（法人は記載不要）

年 月 日

買受代金納付後、物件の所有者となる方の住民票の住所、氏名又は商業登記簿等上の名称、所在地を記載する。

日中、連絡の取れる電話番号を記載して下さい。